

# 市政に対する一般質問

六月議会では、十三日から十七日まで五日間で行われ、二十五人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、写真については登壇して質問しているところです。



## アルネ津山、新しい経営体制は

新風会 谷口圭三



**質問** ↓アルネ津山再建策は、市長へのリコール運動へと発展しているが、計画通り予算執行を行うのか。今後の経営において重要な権利者からの床等の買取状況と、新しい経営体制はどうか？

**答弁** ↓再建策は六月末を期限として各種手続きを行っている。議会の議決通り予算執行するのが責務であり、不転の決意で臨む。七月から個別交渉を開始し契約していく。

**質問** ↓合併による財政効果のひとつとして人件費の削減があげられるがその効果額の試算はどうか。

**答弁** ↓今年度からの十年間で、議員人件費約十三億、特別職約十八億、一般職約五十八億の約九十億円と試算。一般職は今後十年間で百四十人削減予定。

天満屋から常勤の副社長が就任予定。取締役は、市と商工会議所、天満屋、権利者で構成。

## コミュニティバスと総合計画アンケート

津山新星会議 野村昌平



**質問** ↓公共交通機関の見直しが必要な時期に来ていると考えるがコミュニティバスの拡充具体策は。

**答弁** ↓合併に伴う市民の利便性向上と新市の一体化のため、加茂、勝北、久米各支所と中心部を結ぶ三路線と北部循環線の新設及び院庄循環線の増便を十月から予定している。

**質問** ↓次期総合計画(十年間)策定に際し、市民総合アンケートをなぜとらないのか。市民ニーズや市民意識が十分把握できないのでは。

**答弁** ↓検討はしたが、アンケートの限界・制約と合併時期も重なった。従前の地区別及び分野別懇談会に加え、パブリックコメントを新たに採用しホームページはがき、ファックスなどで、広く市民の意見を募集、集約し計画に反映していく。

## 鶴山公園桜開花時期以外は入園無料化できないか

公明党津山市議団 岡安謙典



**質問** ↓鶴山公園は桜シーズン以外は、ほとんど入園者はいない。無料化はできないか。公園のバリアフリー化、特に急な石段の具体的な対策は。

**答弁** ↓文化財や樹木の保護など現在の管理水準の維持には一定の料金徴収が必要である。バリアフリー化は、史跡の管理者である教育委員会と共同で全体的な計画を策定していきたい。急な石段の段差につ

いては踏み板を設置するなどの対策を実施するよう検討する。

**質問** ↓小学校の英語学習の現状と今後の取り組みは。

**答弁** ↓市内二十八小学校の中、二十五校が年間三時間から十時間程度の実施。外国人講師や英語指導助手を招いて英語にふれる程度の学習が主なもの。本格的な英語学習は考えていない。